

プログラム

教育講座1

10月26日(土) 13:00～14:30 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：太田 篤志(プレイジム)

自閉スペクトラム症の感覚過敏の認知神経基盤

井手 正和 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

教育講座2

10月26日(土) 14:45～16:45 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：太田 篤志(プレイジム)

脳内身体表現と運動制御のシステム

内藤 栄一 国立研究開発法人 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター

教育講座3

10月27日(日) 13:30～15:30 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：太田 篤志(プレイジム)

“触れる”を楽しく科学する ～触楽入門～

仲谷 正史 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授

特別企画

10月27日(日) 11:10～12:40 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：加藤 寿宏(京都大学大学院医学研究科)

達人が自身に課してきた3ルール

土田 玲子 NPO 法人 なごみの社、一般社団法人 日本感覚統合学会 会長

小西 紀一 姫路獨協大学 名誉教授、一般社団法人 日本感覚統合学会 認定講習会 講師

感覚統合療法の効果 ～これからの研究に向けて～

伊藤 祐子 首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科 准教授
立山 清美 大阪府立大学 地域保健学域 総合リハビリテーション学類 作業療法学専攻 准教授
山西 葉子 県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 助教

アート演題発表

10月27日(日) 10:30～11:10 メイン会場(3F 記念ホール)

座長：嶋谷 和之(奈良県総合リハビリテーションセンター 作業療法士)

子供の反応をもっと感じ取れるようになりたい！ ～人とのやり取りが難しい事例を通して～

梶谷 竜之介 奈良県総合リハビリテーションセンター 作業療法士

跳び箱を跳べるようになりたいなどの主訴を持つ 小学4年生の女兒への感覚統合療法

那須 弘明 岩手県立療育センター 作業療法士

口述発表 プログラム

口述発表Ⅰ [研究]

10月26日(土) 11:10～12:00 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：岩永 竜一郎(長崎大学 生命医科学域)

I-1 自閉スペクトラム症状と感覚処理特性の関連性について 知的障害の有無に着目して

野田 遥 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

I-2 自閉スペクトラム症者の補足運動野の GABA 濃度低下が 四肢の協調運動に及ぼす影響

梅沢 侑実 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

I-3 当院小児心療科に入院する子ども達の感覚特性について

原田 洋平 長崎県立こども医療福祉センター

口述発表Ⅱ

10月27日(日) 9:30～10:20 メイン会場(3F 記念ホール)

司会：黒淵 永寿(自治医科大学附属病院)

[実践]

Ⅱ-1 揺れ遊具を怖がる幼児に対する感覚統合療法の効果

飛田 孝行 社会福祉法人鶴風会 東京小児療育病院 リハビリテーション部

[研究]

Ⅱ-2 発達障害リスク早期発見のための新検査の開発 ～予備調査の進捗報告～

鴨川 拳 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

[研究]

Ⅱ-3 発達障がい児に対する感覚統合療法の効果 —ゴール達成スケールリングおよび JMAP を用いた検討—

立山 清美 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科

ポスター発表 プログラム

ポスター発表

10月27日(日) 9:30～10:20 ポスター会場(3F 小講義室304B)

[研究]

P-1 小児における口腔内表象と歯肉炎との重要な関係

辰巳 光世 医療法人 榎の木会 さわやか歯科

[研究]

P-2 感覚応答性に基づく自閉スペクトラム特性の多様性の検討

矢口 彩子 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部

[実践]

P-3 不器用さを持つ ASD 児に対する介入事例
～学校版感覚運動アセスメントの推移より～

西澤 文香 たすく株式会社

[実践]

P-4 手先の不器用さをもつ子どもたちに役立つ教師への助言
— 特別支援学級への訪問支援を通して —

佐々木 清子 日本リハビリテーション専門学校